

報告事項イ

平成28年度県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について

平成28年度県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について、別紙のとおり報告します。

平成28年4月27日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

平成28年度鳥取県立高等学校
入学者選抜学力検査における得点状況

鳥取県教育委員会

平成28年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況

1 教科別得点の平均点及び総得点の平均点(全日制課程)

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
平成28年度	27.9	27.4	25.2	30.6	30.3	141.3

平成28年度入学者選抜学力検査5教科受検者数 3,633人
各教科50点満点、合計250点

(参考)

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
平成27年度	29.6	33.4	26.4	27.2	28.9	145.5
平成26年度	25.6	24.9	28.5	26.7	30.7	136.3
平成25年度	23.5	27.1	27.5	25.2	27.1	130.5
平成24年度	25.3	30.0	22.8	29.2	26.6	133.9
平成23年度	24.9	29.1	23.2	29.1	26.8	133.1
平成22年度	29.1	30.2	26.5	25.4	22.2	133.3
平成21年度	25.2	24.9	29.5	23.2	23.7	126.6
平成20年度	25.2	27.8	21.2	25.5	31.1	130.7
平成19年度	29.8	29.2	21.0	28.7	26.0	134.7
平成18年度	30.6	24.7	17.6	25.7	28.3	127.0
平成17年度	24.9	30.5	22.9	25.9	28.1	132.2
平成16年度	32.8	28.4	27.6	32.0	27.8	148.6

各教科50点満点、合計250点

<学力検査得点状況に見られる傾向>

国語・・・基礎的な言語事項や文学的文章の問題の正答率は概ね高かったが、全体をふまえて読み取る問題、設問の意図を的確にとらえて表現する問題の正答率が低かったため、昨年度より平均点が下がったと考えられる。

社会・・・昨年同様、資料やグラフ・図表を読み取って答える問題を多く出題した。地形図の読図に関する問題や日本が結んだ条約に関する問題、資料を読み取って説明する問題、習得した知識を活用する問題の正答率が低かったことなどから、平年並みの平均点に下がったと考えられる。

数学・・・各学年・各領域から基礎・基本を中心にバランスよく出題したが、「資料を活用して割合を求める問題」や「数量を文字式で表して数理的に考察し課題を解決する問題」の正答率が低かった。また、思考の過程を記述する設問をはじめて出題したため、戸惑った受検生も多かったと思われ、無解答が多く、平均点が下がったと考えられる。

理科・・・様々な分野の基礎的・基本的知識や理解度を問う問題から、観察・実験の結果を処理して考察する問題まで幅広く出題した。重要語句や基本的な計算及び作図の問題の正答率が高かったため、昨年度より平均点が高くなったと考えられる。

英語・・・10語程度記述量を増やした英作文については、昨年度に比べ、正答率が下がった。語彙数を100語程度増やした長文読解については、英文の主旨や内容理解を問う英文選択を多く設定したため、昨年度に比べ、正答率は上がり、全体の平均点も上がったと考えられる。

2 各教科及び総得点における得点分布(全日制課程)

【各教科における度数分布】

(人)

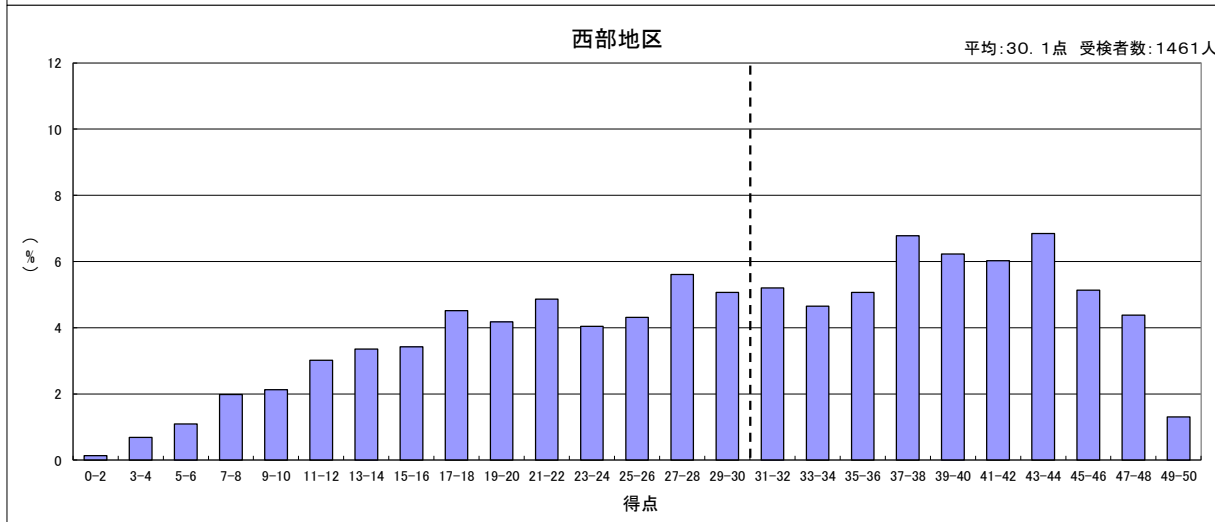
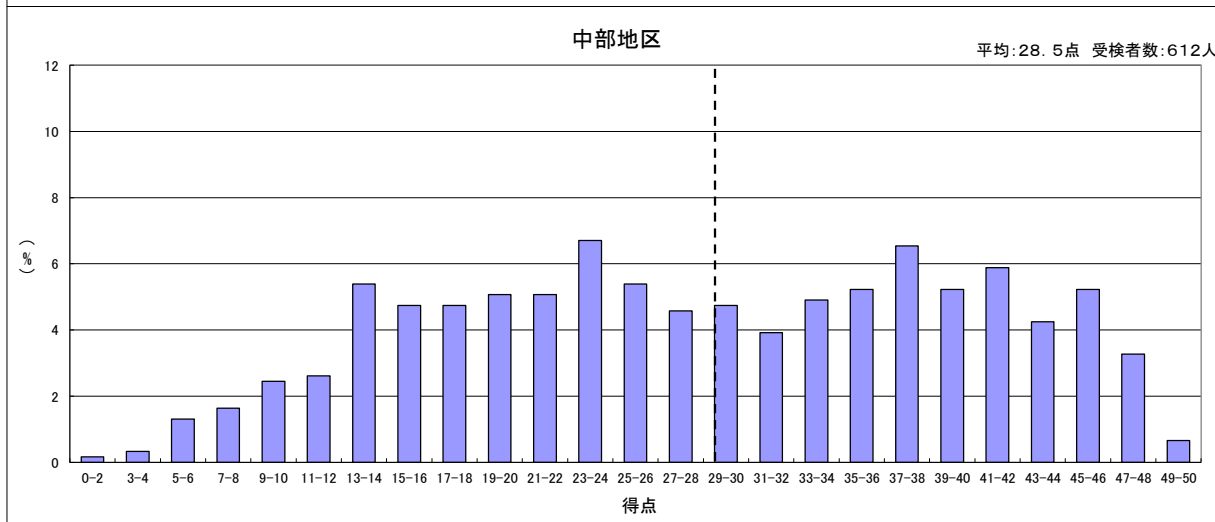
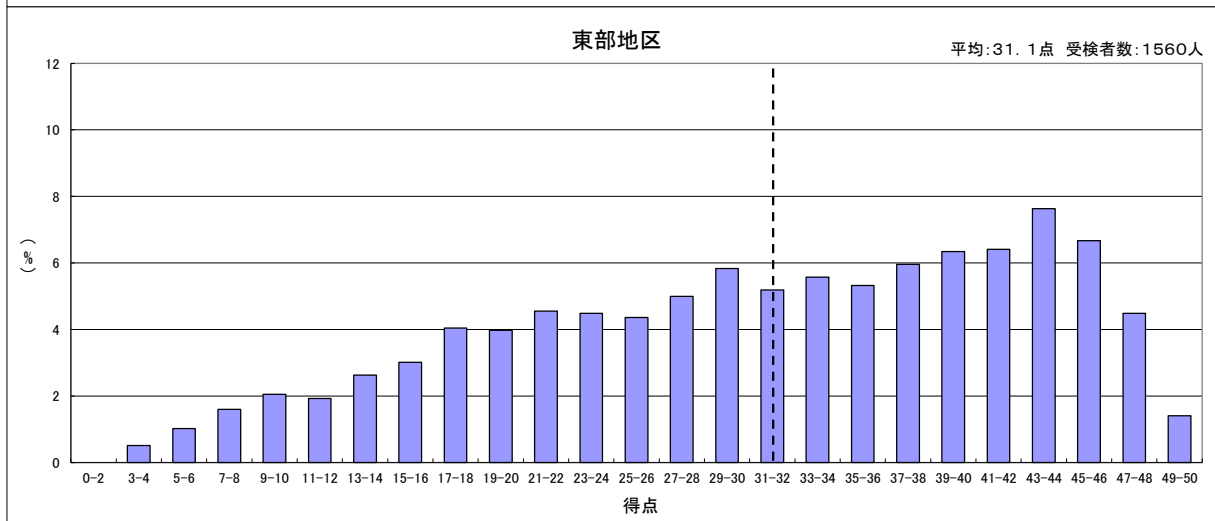
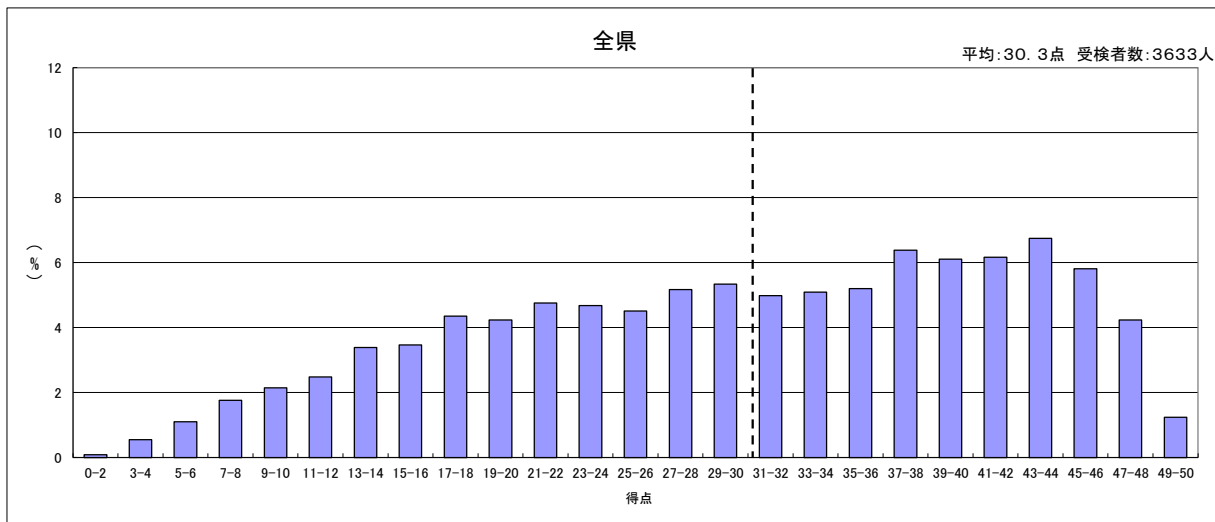
得点	教科	国語	社会	数学	理科	英語
0	～	2	1	19	7	3
3	～	4	2	29	16	20
5	～	6	15	74	29	40
7	～	8	29	100	32	64
9	～	10	37	105	47	78
11	～	12	74	133	54	90
13	～	14	121	132	88	123
15	～	16	155	181	99	126
17	～	18	170	202	107	158
19	～	20	215	188	117	154
21	～	22	252	218	174	173
23	～	24	277	244	167	170
25	～	26	254	241	204	164
27	～	28	278	264	224	188
29	～	30	261	267	264	194
31	～	32	284	273	276	181
33	～	34	281	272	269	185
35	～	36	222	237	273	189
37	～	38	222	175	304	232
39	～	40	172	135	300	222
41	～	42	147	76	252	224
43	～	44	95	42	174	245
45	～	46	50	17	99	211
47	～	48	14	5	44	154
49	～	50	5	4	13	45
受検者数		3,633	3,633	3,633	3,633	3,633

【総得点における度数分布】

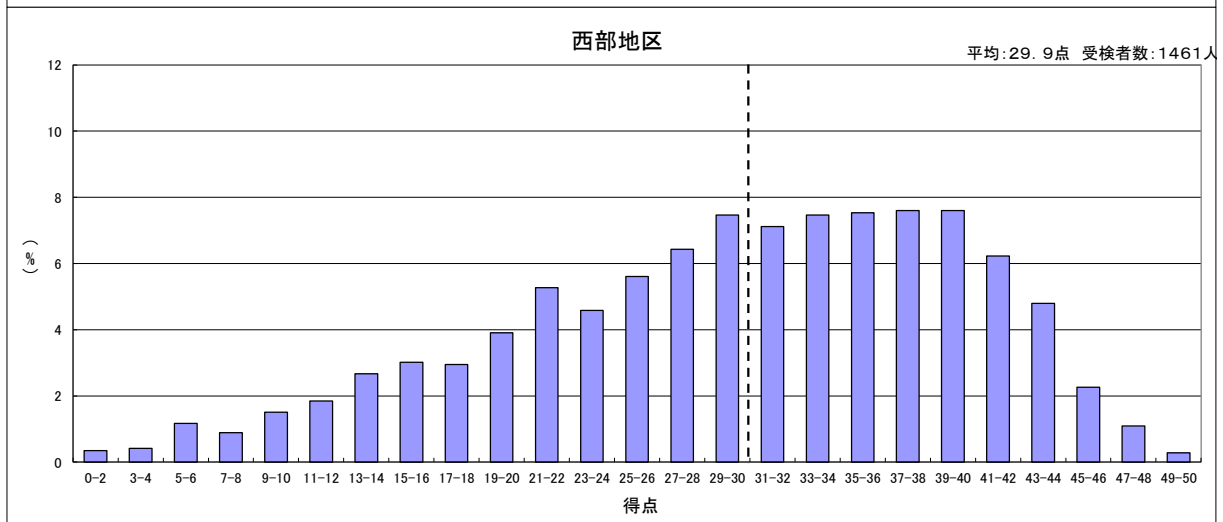
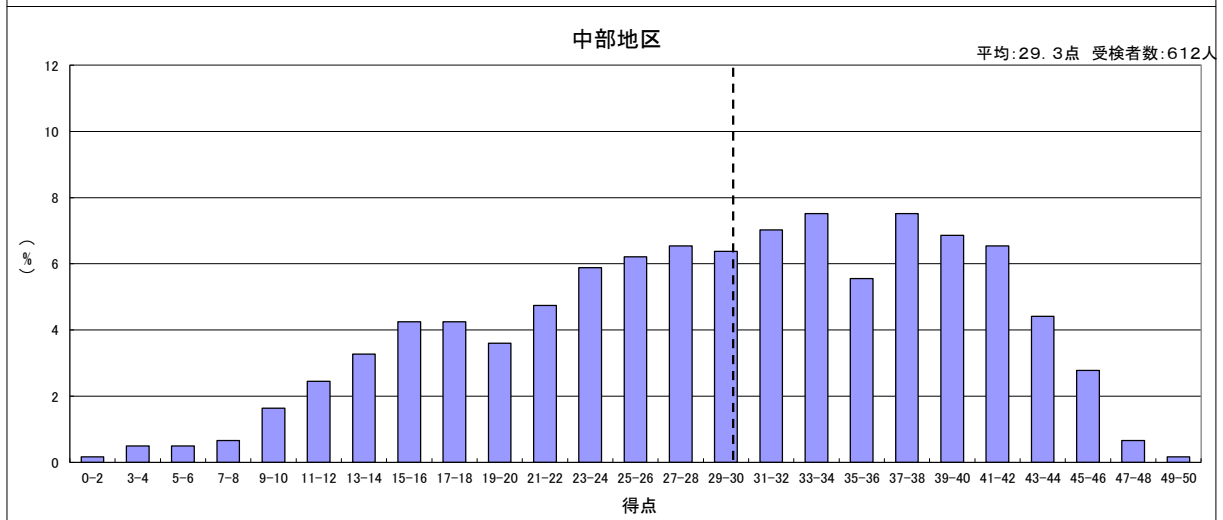
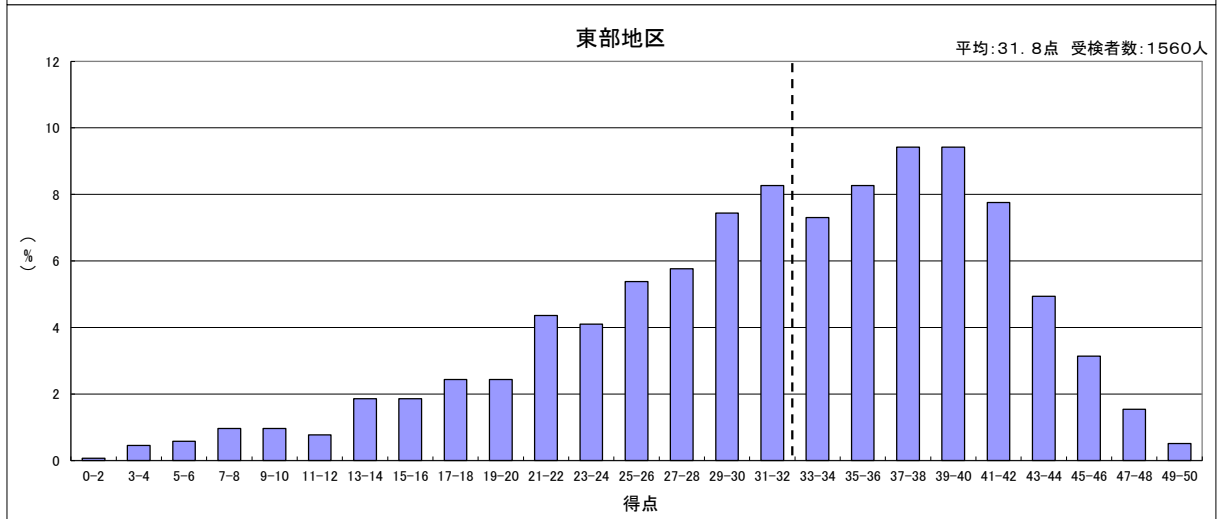
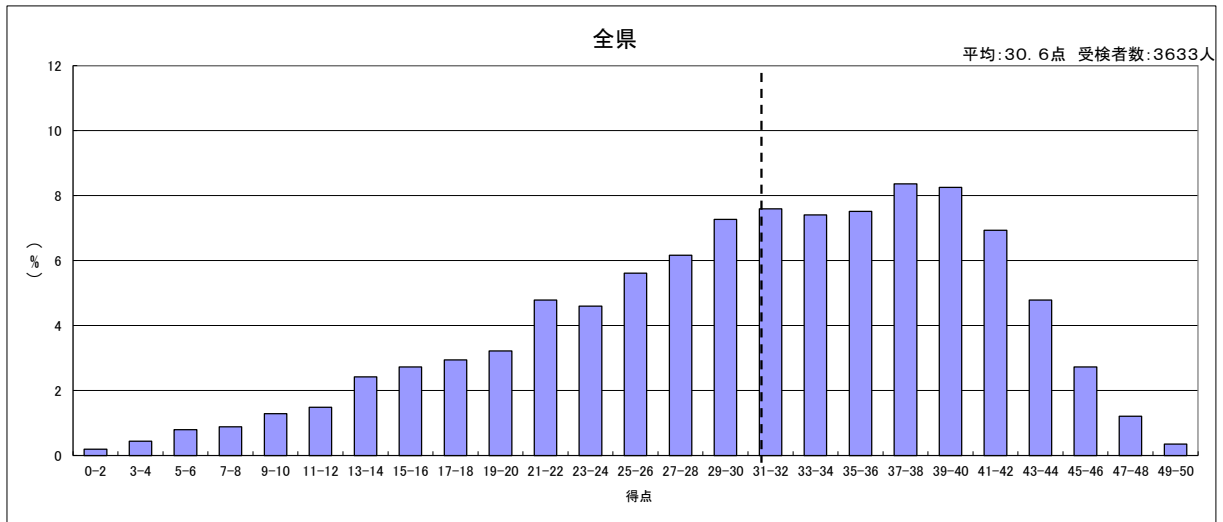
総得点	人数		
0	～	5	0
6	～	10	0
11	～	15	0
16	～	20	2
21	～	25	2
26	～	30	5
31	～	35	16
36	～	40	17
41	～	45	15
46	～	50	32
51	～	55	32
56	～	60	31
61	～	65	52
66	～	70	46
71	～	75	71
76	～	80	78
81	～	85	74
86	～	90	82
91	～	95	87
96	～	100	97
101	～	105	121
106	～	110	116
111	～	115	119
116	～	120	102
121	～	125	116

総得点	人数		
126	～	130	117
131	～	135	132
136	～	140	144
141	～	145	140
146	～	150	137
151	～	155	132
156	～	160	121
161	～	165	114
166	～	170	156
171	～	175	149
176	～	180	142
181	～	185	133
186	～	190	153
191	～	195	142
196	～	200	127
201	～	205	94
206	～	210	67
211	～	215	50
216	～	220	36
221	～	225	24
226	～	230	8
231	～	235	1
236	～	240	1
241	～	245	0
246	～	250	0
受検者数		3,633	

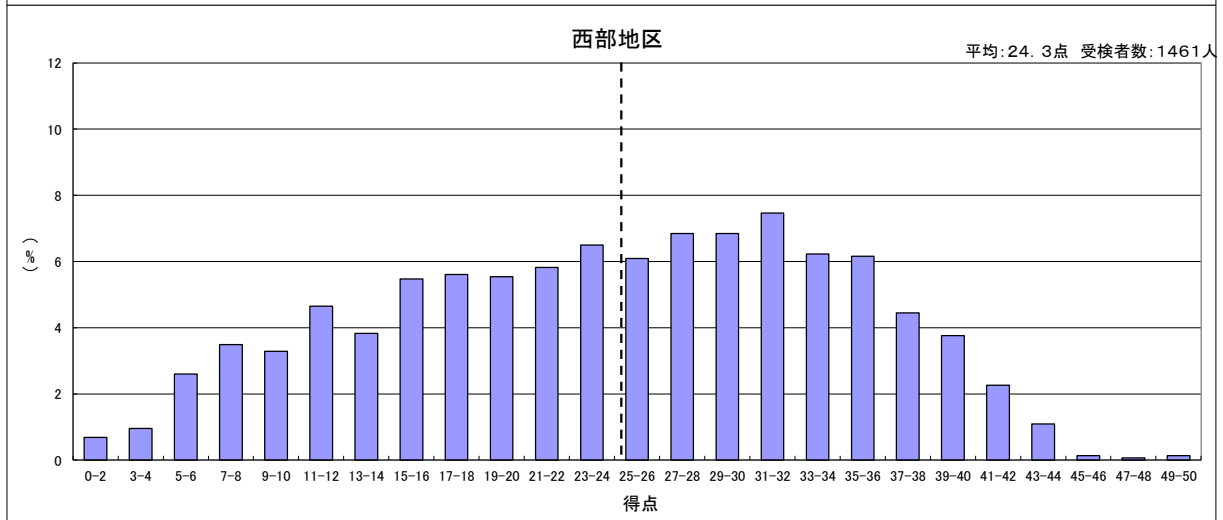
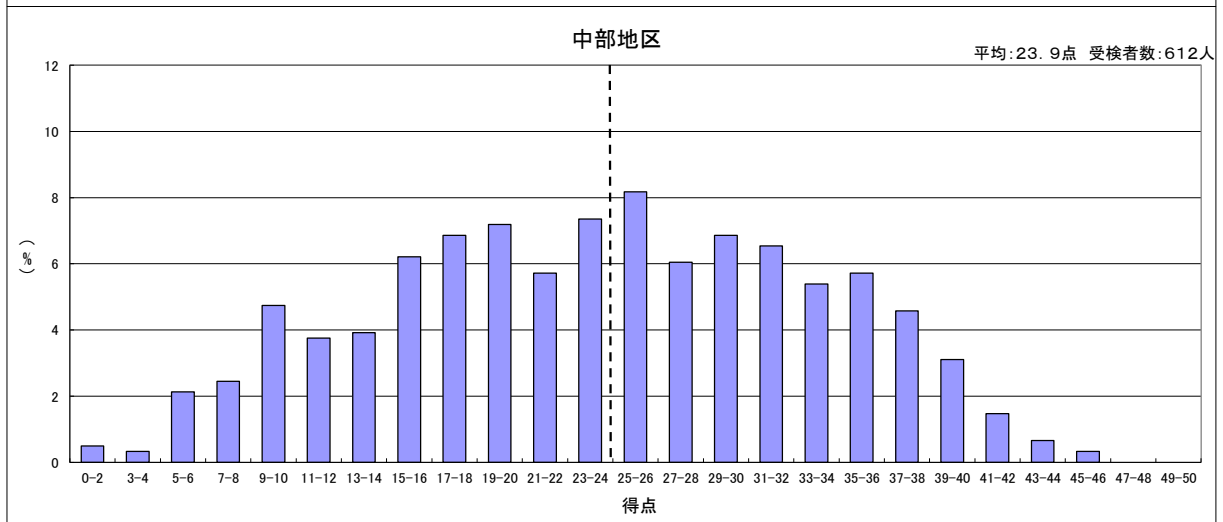
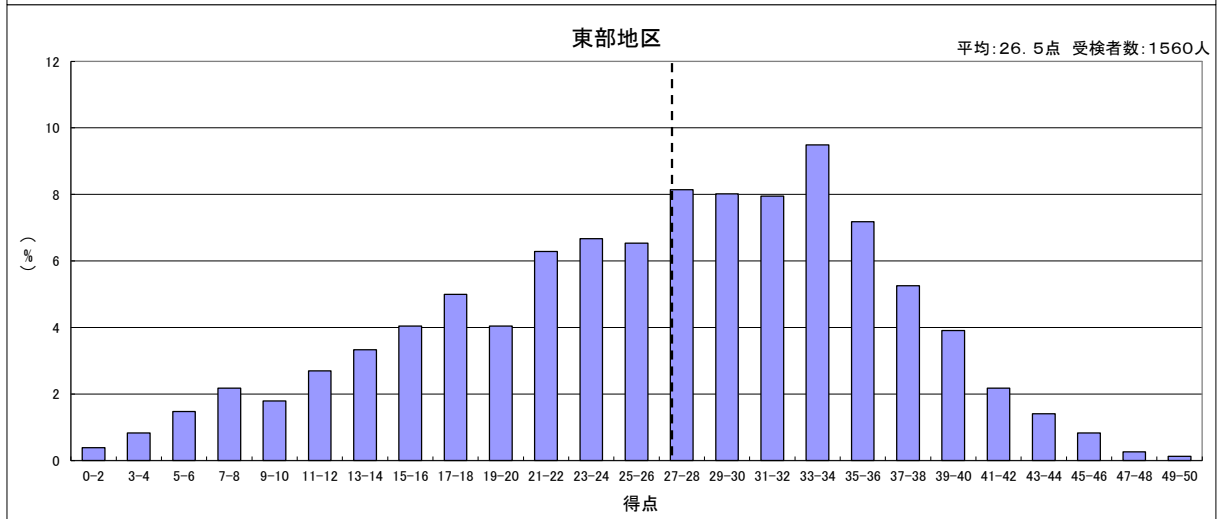
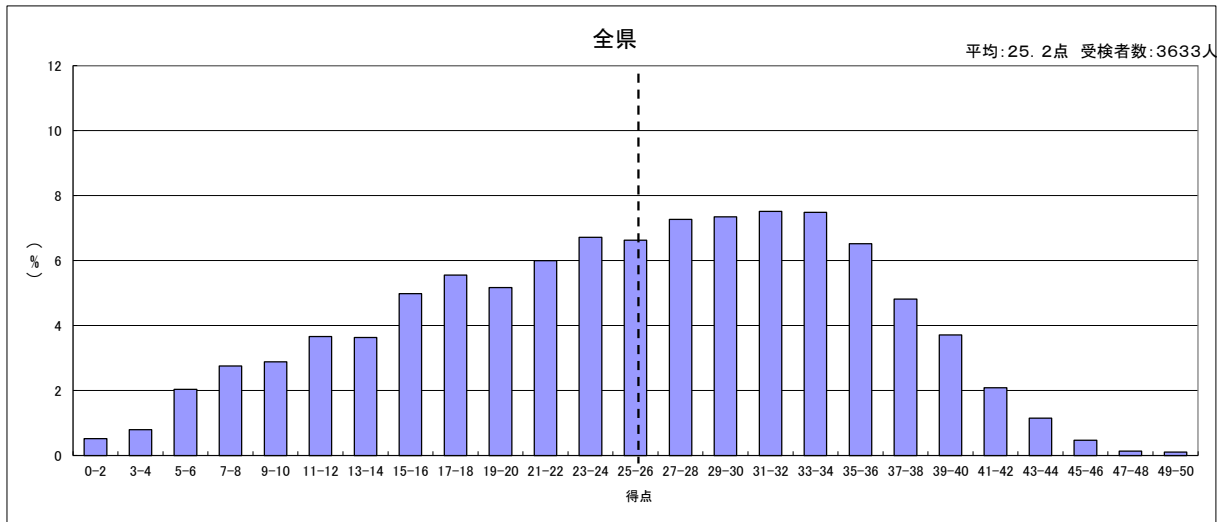
平成28年度 入学者選抜学力検査における得点状況【英語】



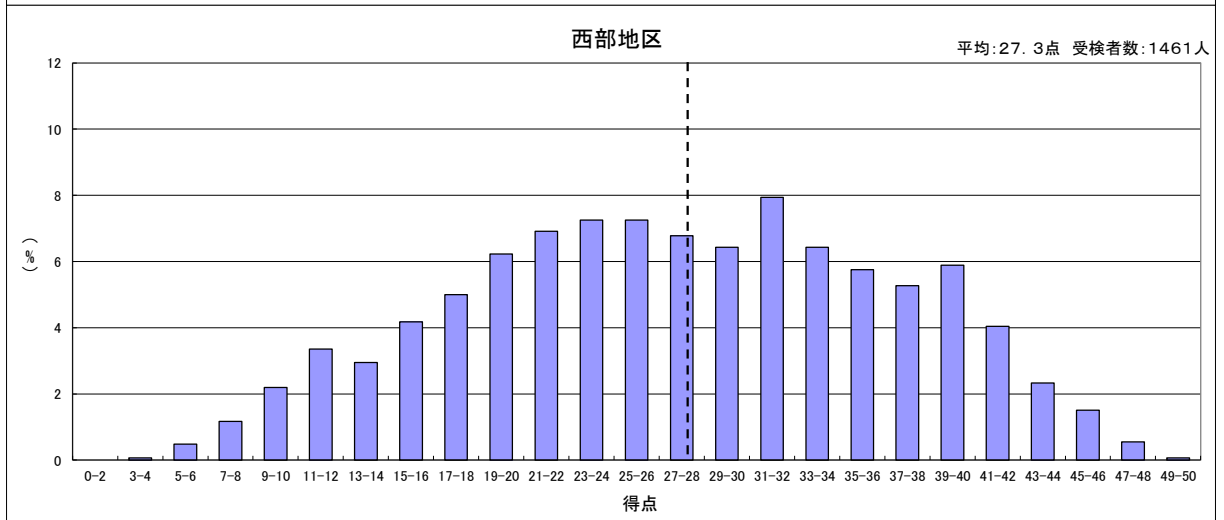
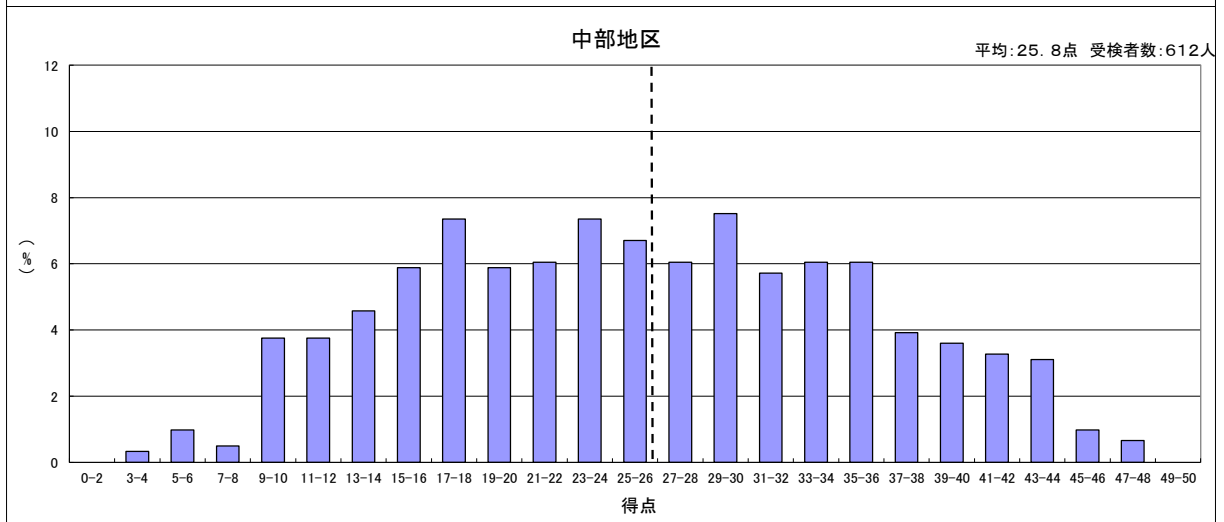
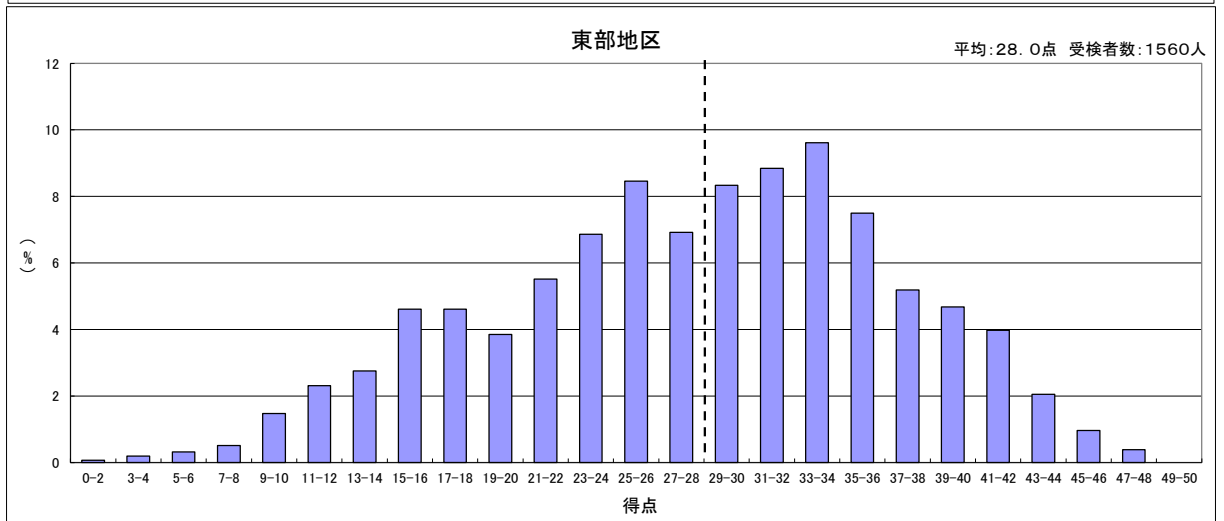
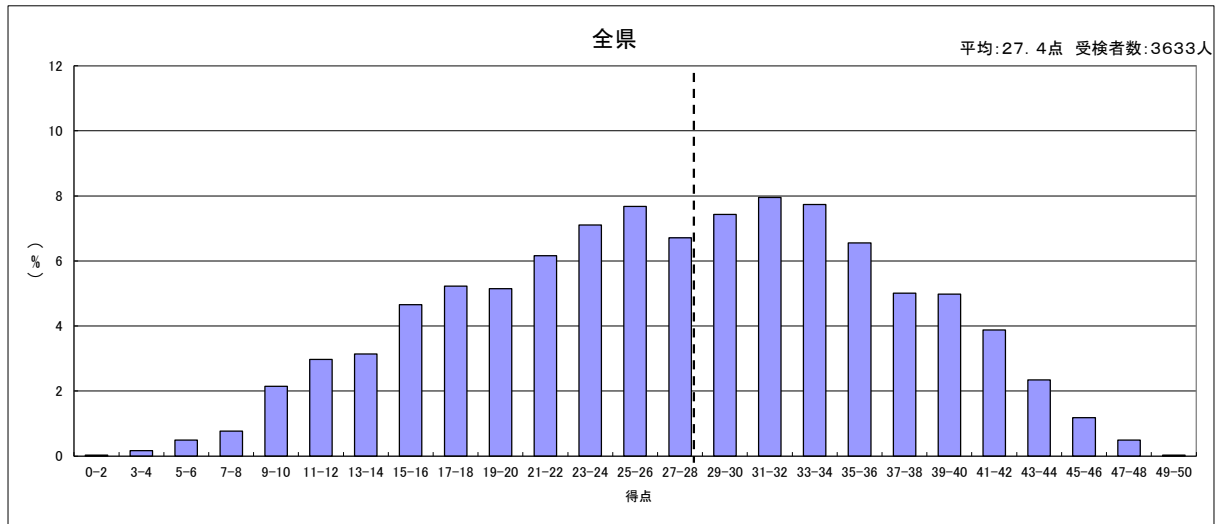
平成28年度 入学者選抜学力検査における得点状況【理科】



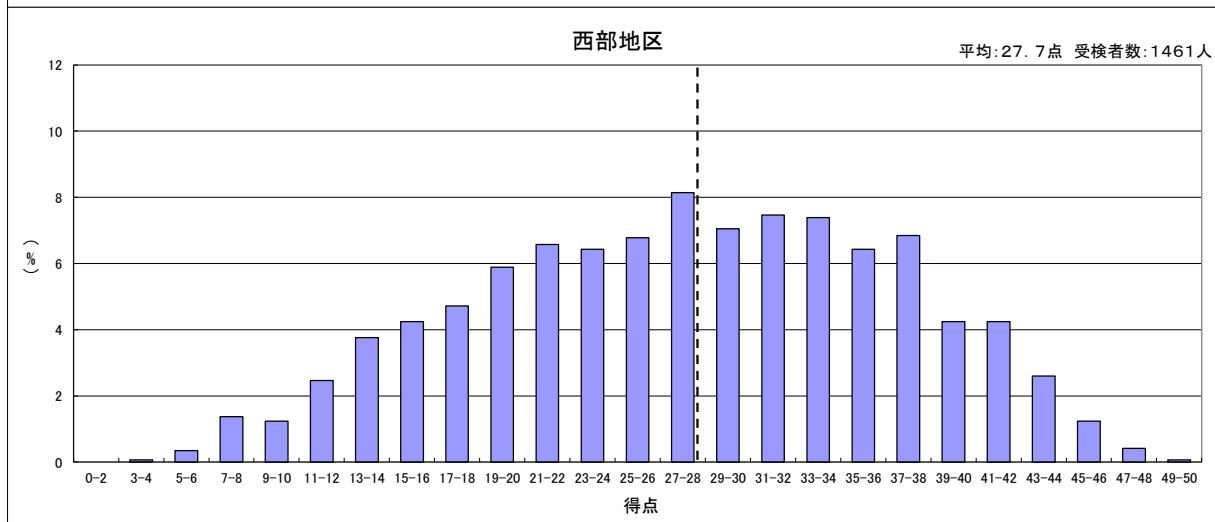
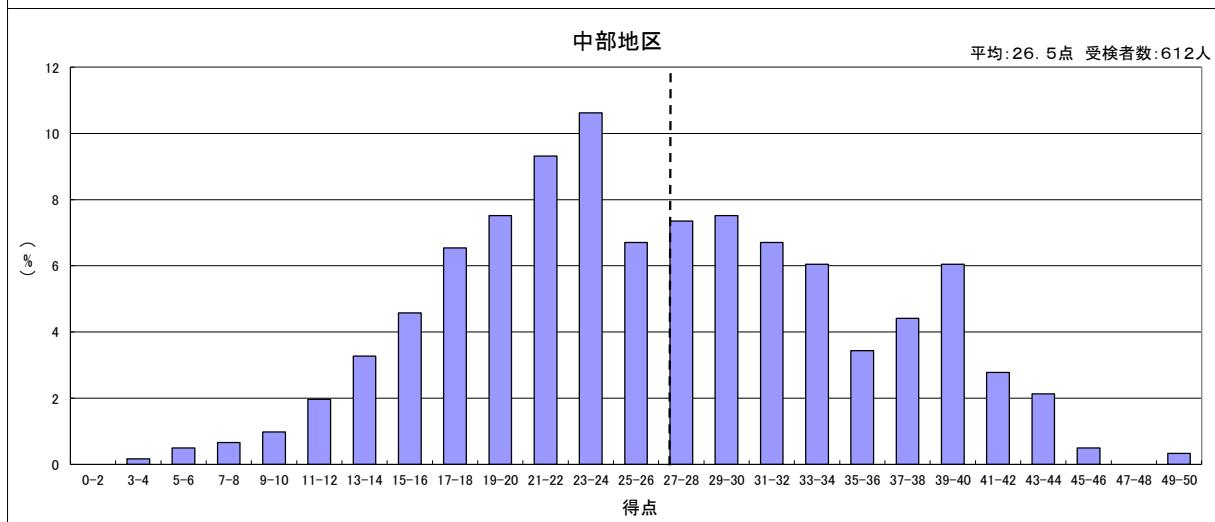
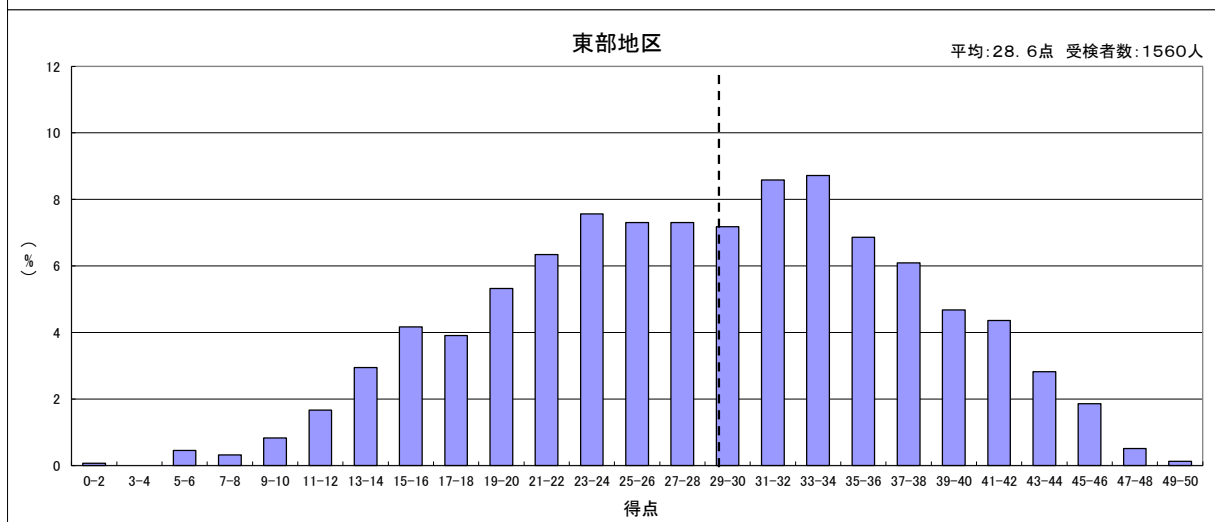
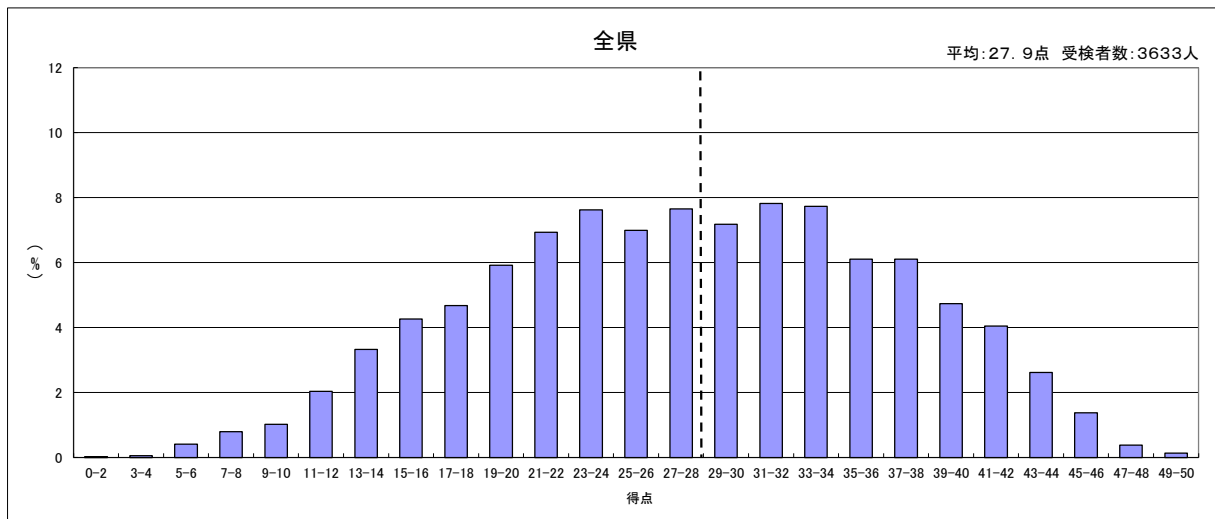
平成28年度 入学者選抜学力検査における得点状況【数学】



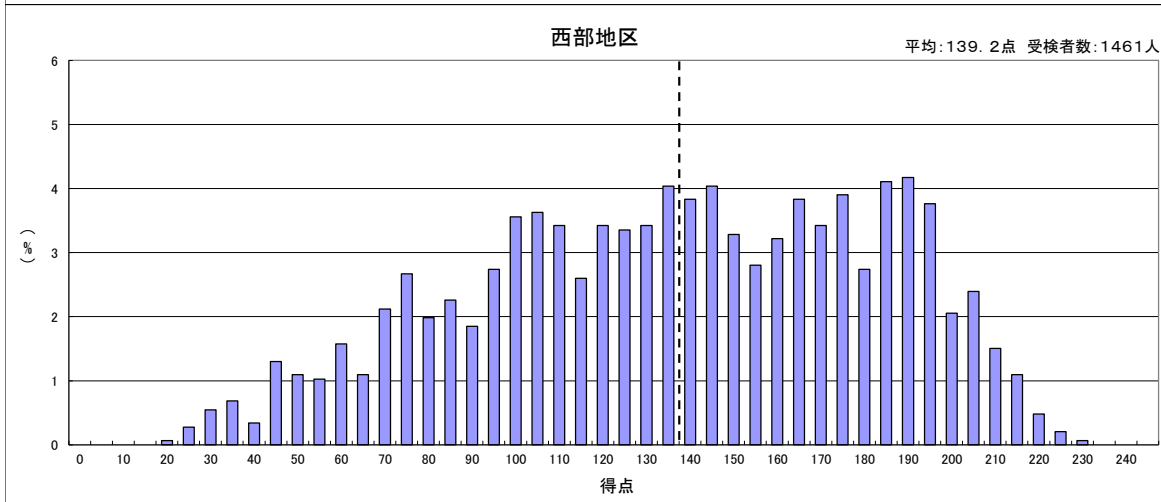
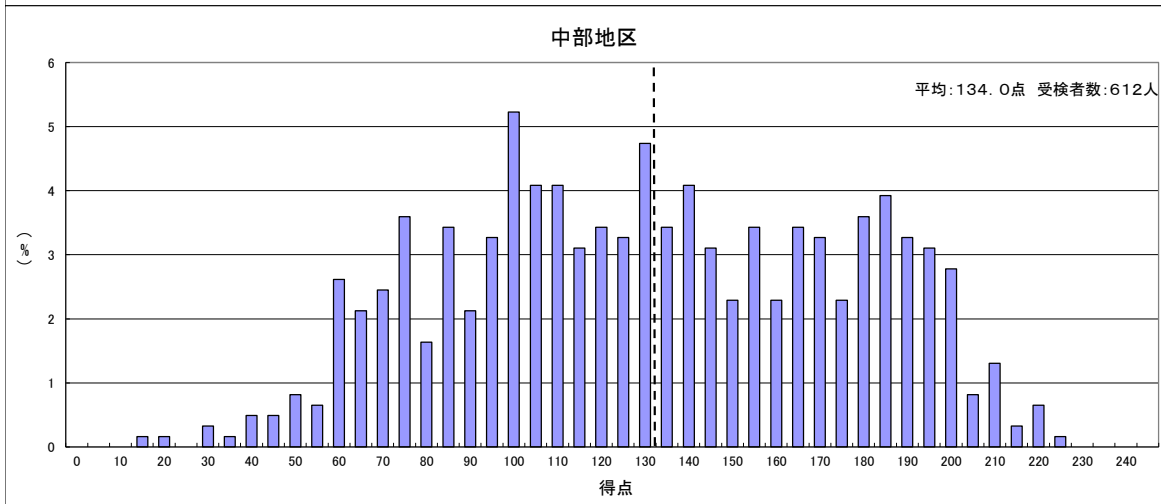
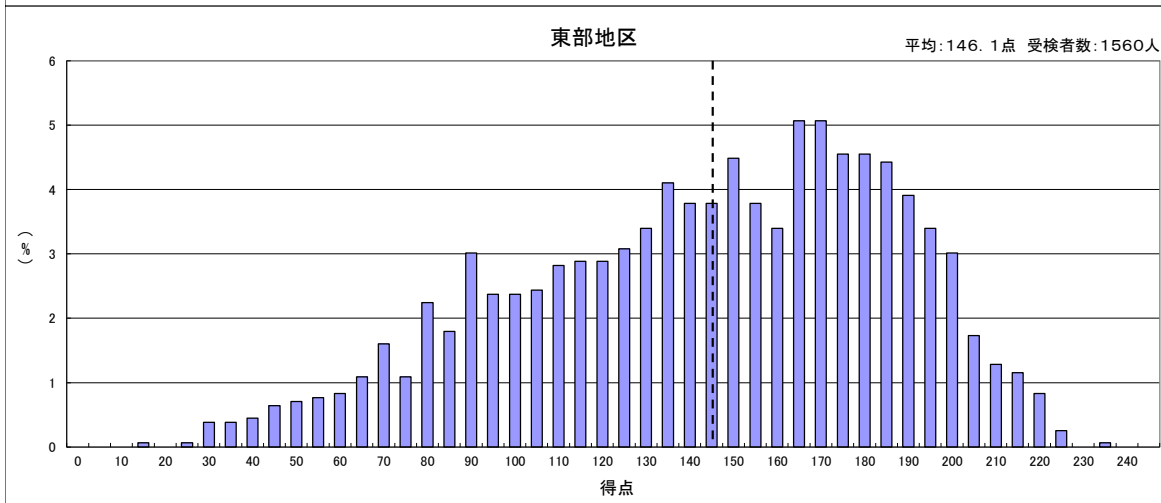
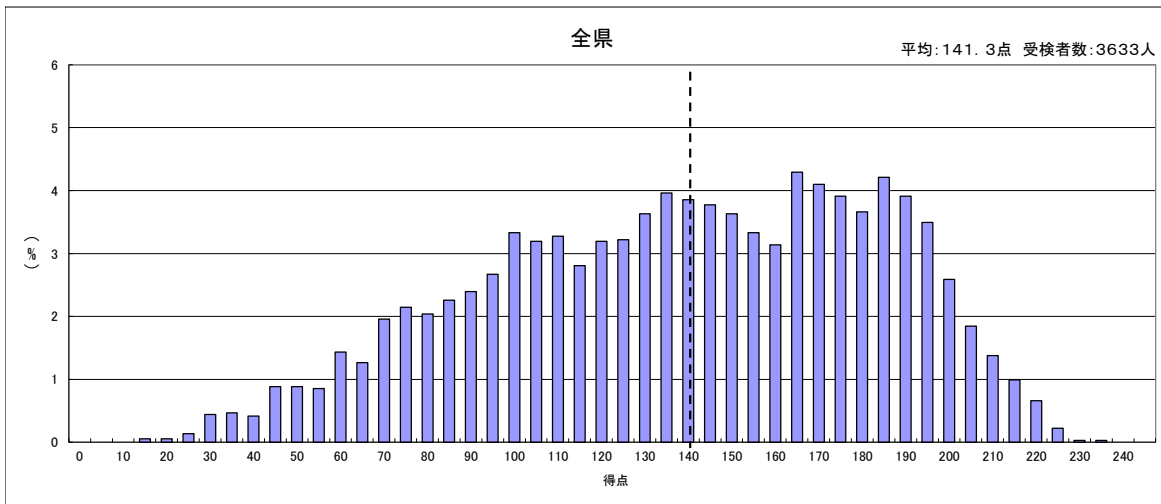
平成28年度 入学者選抜学力検査における得点状況【社会】



平成28年度 入学者選抜学力検査における得点状況【国語】



平成28年度 入学者選抜学力検査における得点状況【総得点】



平成28年度鳥取県立高等学校
入学者選抜学力検査分析

鳥取県教育委員会

《 考 察 》

【 国 語 】

国語については、基礎的・基本的な言語事項を問う問題から応用的な問題まで幅広く出題した。基礎的・基本的な言語事項の正答率は概ね高く、知識的要素は概ね身につけている。しかし、説明的文章では、中学生の日常生活に関わるような身近なテーマでなかったためか、読み取りそのものができておらず、全体的に正答率が低かった。また、文学的文章では、概ね正答率は高かったが、文章全体をふまえた心情の読み取りを記述式で問う設問では、部分部分の読み取りに終始している解答が多く見られた。日頃の学習や日常生活において、文章や事象を部分的にとらえるのではなく、全体と部分とを結びつけながら構造的に読み取る力を育成する必要があると考えられる。また、作文問題の結果を通じて、複数の資料や条件をふまえ、自分の考えを的確に表現する力を育成する必要があると考えられる。

【 社 会 】

社会については、知識・理解の習得状況を問う問題や、資料を読み取って答える問題を多く出題した。知識・理解の習得に関する内容については正答率が高かった。一方、資料を読み取って説明する問題や、知識を活用した深い理解が試される問題については、正答率が低かった。これは、適切に説明することや知識を活用することに課題があると考えられる。事象と事象を関連付けて学ばせる学習や、現実の社会的な事象と結び付けて学ぶ学習の充実を図り、社会の形成に主体的に参画しようとする力を工夫して養うことが必要である。また、いずれの分野においても、日常の社会生活と関連付けながら今日の社会的な問題に対する関心や意欲を高め、学んだ知識を活用して、さまざまな角度から考察し説明する力の育成を図ることが重要である。

【 数 学 】

数学については、基本的事項を問う問題を多く出題するとともに、表・図・グラフ・資料を積極的に活用して課題を解決する問題及び思考の過程を記述する問題を多く出題した。教科書や問題集等で学習した型どおりの問題は正答率が高かったが、問題文などから複数の条件を把握し処理する問題や考察過程を数学的に表現する問題では、問われている内容の難易にかかわらず誤答率が高かった。これは、型どおりには処理できない問題や、型にはめるまでに試行や多段階の思考を要する問題において、問題文を正確に把握した上で、補助線を引く、表を作る、いくつかの値を代入する、条件に合わせてグラフや図を描くなど、具体的な操作を通して論理的に問題をとらえる力に課題があると考えられる。そのため論理的に考察した結果を数式やグラフ、図などで表現する力を育成していくことが重要である。

【 理 科 】

理科については、基礎的・基本的知識や理解度を問う問題から、観察・実験の結果を処理して考察する問題まで幅広く出題した。重要語句や基本的な計算及び作図の問題は正答率が高く、無答率も低かった。しかし、観察・実験の結果を分析し解釈して表現する問題では正答率が低く、無解答も見られた。また、文章記述で解答する問題では、質問の意図と合わない記述が見られ、的確に表現する能力に課題がある。平素の授業において、目的意識を持って観察・実験を行い、結果を処理し、総合的に考察し表現する能力を育成するための指導の工夫が必要である。化学式や化学反応式では無答率が高く、複数の計算を要する問題や知識を応用する問題では正答率が低く課題が見られた。化学変化を原子や分子、イオンのモデルで説明したり、観察・実験の結果について分析したことを、生徒自身が説明したりするような言語活動を取り入れるなど、獲得した知識についての理解を深めて体系化していくようにする必要がある。

【 英 語 】

英語については、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3つの領域にわたって、英語の知識や、それらを活用した表現と理解の能力を測るために、比較的短い文から、まとまりのある長い文章まで出題した。英文を聞き取ったり、まとまりのある英文の概要を読み取ったりする問題の正答率は高かったが、実際のコミュニケーション場面を想定して英語で説明する文を書いたり、長い文章を読んで、書かれている内容から判断して文脈に合う表現を記述する問題は正答率が低かった。指導にあたっては、身近な出来事や体験したことなどについて英語で表現することに継続的に取り組ませるとともに、まとまりのある文章を読んで書かれていることを理解し、内容について自分の感想や意見をまとめ、表現する力を育成する指導が重要である。

《 国 語 》

【出題の基本方針】

- 1 国語の基礎的・基本的事項についての知識を問うとともに、目的や場面に応じて話すことについて、その理解力をみる。
- 2 論理的な文章を読むことを通して、筆者のものの見方や考え方、論の展開を的確に読み取る力や読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 3 文学的な文章を読むことを通して、文章に描かれた場面、心情、表現の特色などを的確に読み取る力や、読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 4 古典を読むことを通して、伝統的な言語文化に関する事項や記述された内容について、理解する力をみる。
- 5 与えられた条件に従い、目的や意図に応じ、社会生活にかかわることについて、自分の考えを文章にまとめる力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題一は、小問集合形式による出題とし、基礎的・基本的事項及び話すことについて理解する力をみた。漢字の読み、慣用句また敬語に関する問題の正答率は高く、中学校での指導事項の定着がうかがえた。しかし、表現内容を理解し、解答条件をふまえて的確に表現する力が求められる問題の正答率はやや低かった。日頃の学習において、複数の要素を複合させて思考する学習活動を取りいれたい。また、文脈を読み取り、同訓異義語を答える問題の正答率も低かった。漢字それぞれの持つ意味を理解するとともに、学習した漢字を日常生活で正しく使いこなせる力を養いたい。
- 2 問題二は、説明的文章とし、筆者の論の展開、表現内容を理解する力を問う問題構成とした。文章量は例年並みで、使用されている言葉や表現自体は標準的であったが、テーマが中学生の日常生活になじみのない「研究」であったためか、全体的に正答率は高くなく、本文全体の読み取りが困難だった生徒が多かったと思われる。国語の学習場面だけでなく、日頃の読書活動、また新聞を読む際において、自分の興味関心の有無にかかわらず、さまざまな分野の文章を読む姿勢を養いたい。
- 3 問題三は、文学的文章とし、表現内容・登場人物の心情等の読解力を問う問題構成とした。戦時下の日本を場面にしたものであったが、平易な文章でくみしやすい内容であったため、全体的に正答率は高かった。しかし、本文全体を通じて登場人物の心情を理解する力の弱さうかがえる設問結果もあった。文章を部分的に切り取って読み進めるのではなく、部分と全体とを行き来しながら理解しようとする態度を育成する必要がある。
- 4 問題四は、古典の出題とし、漢文の基本的な知識や内容を理解する力をみた。平成23年度入試以来の出題であったが、問題文を書き下し文の形式で出したことで、中学生にとっては取り組みやすかったと思われる。例年と同様、歴史的仮名遣いの問題の正答率は高く、漢文訓読の知識を問う問題の正答率はあまり高くなかった。しかし、本文全体の内容は概ね押さえられているよううかがえる結果であった。中学校の国語の学習の中で、漢文にあてる時間は多くはないが、その中で基本的な知識をおさえるとともに、中国の思想や文化にふれ、日本と比較しながら、古典への興味関心を広げたり深めたりしてほしい。
- 5 問題五は、作文とし、与えられた条件に従って、複数の資料をもとに、自分の考えをまとめ表現する力をみた。設問の意図を理解しきれず、また複数の条件をふまえて表現できず、書くべき要素が十分にそろっていない解答が目についた。しかし、資料の素材が中学生にとって身近なものであったためか、無解答はほぼなかった。中学校での丁寧な学習指導の成果がうかがえた。

《 社 会 》

【出題の基本方針】

- 1 世界と日本の地理的事象について、地図、グラフなどの資料をもとに、その地域的特色を考察する地理的な見方や考え方が身についているかをみる。
- 2 日本の歴史における各時代の特色や事柄を、年表や図などの資料をもとに多面的・多角的に考察し、歴史の大きな流れなどを大観して、総合的に理解しているかをみる。
- 3 日本の政治や経済、国際社会の基本的なしくみを理解し、社会的事象について今日の生活とのかかわりの中で考えて判断し、表現する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、地理的分野を中心に出題した。国土面積や排他的経済水域のグラフから国土の特徴に関する問1(2)の正答率は9割、食料供給量のグラフから各国の食文化の特色の理解を試す問1(5)の正答率は約7割と高く、中学校での資料読解の学習の成果がみられた。一方、経緯線の問題や、時差の計算方法、日本の気候区分、各地域の産業の特色に関する問題の正答率は伸びなかった。東日本大震災の前後における発電量の変化に関する問2(4)の正答率は約5割であった。問2(5)(6)の地形図に関する問題の正答率は5割前後であり、地形図や空中写真の読図などの学習活動を充実させることを一層重視することが大切である。今後も引き続き、地理的な見方や考え方の基礎を養うため、地図や統計などの資料を適切に読み取り、地域的な特色を総合的に理解する力を身に付けさせるとともに、動態地誌的な学習による国土認識を充実させていくことが大切である。
- 2 問題2は、歴史的分野に関する出題とした。古代から近世までの歴史の大きな流れに関する問1では、弥生時代や勘合貿易に関する(1)、(3)の正答率は約7割であった。一方、平安時代や江戸時代に関する(2)、(5)の正答率は5割前後であった。江戸時代の財政の特徴を資料から読み取り適切に説明する力を試す(6)の正答率は約3割であった。問2では、江戸時代の文化や2つのオリンピック中止の理由を説明させる(1)、(3)の正答率は約5割、明治時代の輸出品と世界の歴史と結び付けて考えさせる(2)の正答率は約6割であった。一方、日本が結んだ条約について出題した(5)は約3割であった。今後も引き続き、我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習を重視し、歴史について考察する力や説明する力を育成するとともに、近現代の学習を一層充実させることが大切である。
- 3 問題3は、公民的分野に関する出題とした。政治、経済、国際関係の各分野から出題し、基本的な知識、理解の習得状況を問う問題とした。基本的人権、公債、消費者主権、条例に関する問題については、正答率が7割を超え、基本的事項の定着がみられた。比例代表制選挙、衆議院の優越、地域統合、GDPと国防支出に関する問題では、正答率が5割を超えなかった。また、国民の三大義務に関する問2(2)の誤答率は約3割と高かった。問4(1)のように複数の資料を読み取る力を問う問題で、正答率が約6割であり、資料を読み取る力の高まりがみられた。今後も引き続き、現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、国民主権を担う公民を育てるために必要な知識を定着させつつ、社会に参画しようとする力を一層工夫して養っていくことが大切である。
- 4 「グラフや資料を読み解いた上で解答する問題」を用いて、自分で考え、適切に判断したり、表現したりする力をみる問題を多く出題している。引き続き、現実の社会的な問題に対する関心や意欲を高め、基礎的・基本的事項を理解した上で、多面的・多角的に考察し、公正に判断して自分の言葉で適切に表現する学習の充実を図ることが重要である。また、広い視野から社会的事象をとらえるために、小学校からの学びをふまえた上で、地理的分野、歴史的分野、公民的分野のつながりを意識した授業づくりが求められる。

《 数 学 》

【出題の基本方針】

- 1 各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項の理解度及び計算力・表現力をみる。
- 2 基本的な概念や原理・法則を活かして、見通しをもって問題を分析し、処理する力をみる。
- 3 数学的な見方や考え方を活用して、対象を論理的に考察し、課題を解決する力をみる。
- 4 日常生活における題材について、数理的に考察し、処理する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は小問集合とし、各学年で学習する基礎的・基本的事項の理解度及び単純な計算力を見る問題を出題した。概ね正答率が高く良好な結果であり、中学校での日頃からの基礎・基本の定着がうかがわれた。しかし、一次関数の増加量、作図（垂直二等分線）、反比例のグラフ、規則性を見つけ出して課題を解決する問題で誤答率が高かった。これらの単元については、基本的な用語や操作の理解、数量の関係を文字を用いて表現する技能の習得が重要である。
- 2 問題2は、読書時間の調査結果について考察する問題とした。標本の抽出方法を求める問題は正答率が高く良好な結果であったが、相対度数を求める問題やヒストグラムを読み取る問題は、誤答率・無答率が高かった。ヒストグラムを作成したり代表値を求めたりすることだけではなく、ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明する数学的活動が重要である。
- 3 問題3は、箱の中から玉を取り出す確率の問題とした。事象を把握して「場合の数」を求める問題は、誤答率が高かった。「場合の数」の求め方に課題があると考えられるので、起こりうる（または起こらない）場合の数を的確に効率よく求めることができるよう指導することが大切である。
- 4 問題4は、研修旅行における班別自主行動を題材とした数学的な見方や考え方を活用し、数学的に表現することを見る問題とした。グラフから見学時間を読み取る問題は正答率が高く良好であり、直線の傾きの意味する指導の成果と思われる。しかし、その他の問題については全体的に誤答率・無答率が高かった。問題文を正確に把握し自分なりに整理した上で、表を作る、条件に合わせてグラフや図を描くなど、具体的な操作を通して論理的に問題をとらえる力に課題があると考えられる。また、文字式の理解に課題があるので、数量の関係を文字式に表すことや、逆に文字を使って表された式の意味を理解することが重要である。
- 5 問題5は、二次関数と一次関数のグラフに関する融合問題としたが、全体的に誤答率・無答率が高かった。条件を満たす三角形を描き、三角形の合同の根拠となる事柄を発見する指導が必要である。しかし、異なる2点を通る直線の式を求めることは概ね良好であり、中学校での日頃からの基礎・基本の定着がうかがわれた。
今年度の特徴として思考の過程を論理的に記述する設問を出題したが、誤答率・無答率が非常に高かった。自分の考えを説明したり、相手の説明を批判的に聞いたりするなどした活動を通して、グラフや図の中から必要なものを適切に選択し考察するなど、思考力・判断力・表現力を伸ばす指導が必要である。
- 6 問題6は、正八面体を題材にして立体図形を考察する問題としたが、全体的に誤答率・無答率が高かった。三平方の定理などの既習事項を立体図形の中で活用し、立体を多角的に分析し論理的に考察する態度の育成が重要である。また、ICTを活用したり、実際に立体図形を作成したりするなどの操作活動の充実も重要である。

《 理 科 》

【出題の基本方針】

- 1 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な事項を理解し、知識が身につけているかを見る。
- 2 自然の事物・現象の中に規則性・法則性を見いだすなど、科学的な見方や考え方ができているかを見る。
- 3 観察・実験で得た結果を処理し、総合的に考察して、自らの考えを表現する力が身につけているかを見る。
- 4 身近な自然の事物・現象に興味・関心をもち、科学的に探究する態度が育っているかを見る。

【結果の概要】

- 1 問題1は、生物分野に関する出題とした。植物の体のつくりについての基礎的・基本的な知識と、葉のつき方についての規則性を調べる実験についての考察力をみる問題である。全体的に正答率が高く、中学校での基礎基本を大切にした指導の成果が見られた。特に問1の重要語句を問う問題では正答率が9割と非常に高かった。また、葉のつき方の規則性を見いだすこともできていた。
- 2 問題2は、化学分野に関する出題とした。金属と酸素が化合するときの質量の関係を調べる実験を通して、科学的な見方や考え方ができているかを見る問題である。問2のグラフをかく問題では、正答率が8割と高く、基礎的な技能の定着が見られた。しかし、問1(2)の物質を分類する問題、問3(2)の一定量の酸素と化合する銅とマグネシウムの質量比を計算する問題では正答率が3割と低かった。単なる知識の定着にとどまらず、知識を活用する力を養う必要がある。
- 3 問題3は、地学分野に関する出題とした。地震によるゆれ方の特徴などについての問題である。問1(1)の重要語句を問う問題では正答率が9割、問1(3)の震央の位置を問う問題では正答率が8割と高く、基礎的・基本的な知識・技能の定着が見られた。しかし、問2の土地の上下動についての問題では正答率が3割と低かった。基本的な事項を覚えるだけでなく、獲得した知識についての理解を深めたり、多面的に捉えたりして、学んだことを体系化していく必要がある。
- 4 問題4は、物理分野に関する出題とした。電熱線の発熱量に関する問題である。問2の水温を求める計算問題では正答率が4割と低かった。目的意識を持って観察・実験を行い、結果を処理し、総合的に考察し表現する能力を育成するための指導の工夫が必要である。
- 5 問題5は、生物分野に関する出題とした。刺激と反応に関する問題である。全体的に正答率が高く、おおむね良好であった。ただし、問2の刺激や命令の伝わり方に関する問題では正答率が3割と低かった。学んだことを実際の体のつくりと照らし合わせるなど、生物の体のつくりをその働きと関連させて考察させる工夫が必要である。
- 6 問題6は、化学分野に関する出題とした。酸とアルカリについての総合的な問題である。問3(1)、(2)の実験の様子や、イオン式を問う問題では正答率が低かった。観察・実験の機会を増やし、物質やイオンに関する基本的概念について正確に理解させ、イオンのモデルと関連付けてみる微視的な見方や考え方を養う工夫が必要である。
- 7 問題7は、物理分野に関する出題とした。物体にはたらく力に関する問題である。問2(1)の2力の合力を作図する問題では正答率が8割と高く、中学校での丁寧な作図指導の成果が見られた。しかし、問2(2)の合力の分解に関する問題では正答率が2割と低かった。日常目にする事物・現象と関連させながら、様々な力がはたらいっていることに気付かせる工夫が必要である。
- 8 問8は、地学分野に関する出題とした。太陽の動きに関する問題である。問1の重要語句を問う問題では正答率が9割と高かったが、問3の観察結果を予想し考察する問題では正答率が約1%と非常に低かった。観察記録や資料などを分析して解釈させる際には、図やモデルを使って説明させるなどの活動を通して時間概念や空間概念を形成し、天体の位置関係や運動について相対的に捉える見方や考え方を養うことが必要である。

《 英 語 》

【出題の基本方針】

- 1 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の各領域にわたる基礎的・基本的知識と、それを活用する力が身についているかをみる。
- 2 日常生活の身近な事柄などについて、短い英語やまとまりのある英語を聞いて、情報を正確に聞き取ったり、話し手の意向などを理解したりする力をみる。
- 3 日常生活の身近な事柄などについて、初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを表現する力をみる。
- 4 まとまりのある英文を読んで、本文や対話の流れを理解したり、重要な情報を正確に読み取ったりする力をみる。
- 5 物語文を読んで、本文の展開や、登場人物の考えや気持ちなどを正確に読み取る力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1の「聞くこと」に関する問題では、正答率が高く、まとまりのある英文の概要をとらえることができていると、中学校での指導の成果がうかがえる。今後も継続して、教師やALTの話す英語や生徒のスピーチ活動など、まとまりのある英文を聞く機会を設定するとともに、聞き取った内容を整理し要点をとらえることができるようにすることが求められる。
- 2 問題2の語彙及び文法事項に関する問題は、文脈に合う語を補って対話文を完成させる設問で、約半分の正答率となった。運用度の高い語彙や文法事項については、実際に使われる場面を想定して練習し、定着を図ることが必要である。
- 3 問題3の「読むこと」に関する問題では、昨年より語数が増加したものの、受検生の長文を読もうとする意欲は高まっている。「書くこと」に関する問題では、英文のメールに対して英語で返答する設問であったが、相手の求める情報についての読み取りが不十分な解答が多く見られた。読んで理解したことに基づいて、感想や意見を書いたり話したりする言語活動を行う機会を増やすことが求められる。聞いたり読んだりしたことをもとにコミュニケーションを図らせるような指導が大切である。
- 4 問題4の「読むこと」に関する問題では、大まかな内容の読み取りを問う設問の正答率は高い。会話の流れを理解し、登場する人物が説明したことを読み取って日本語で解答したり、登場人物の発言内容を踏まえ、英語で解答したりする設問については正答率が低い。一文一文の解釈にとどまらず、会話の中で話題の中心となっていることを読み取って理解したのち、自分の言葉で要点をまとめて他者に伝えるなどの言語活動を行う必要がある。
- 5 問題5の「読むこと」に関する問題では、本文の内容に合う日本文や英文を選んだりする問題は正答率が高いが、物語のあらすじや内容から判断して、適切な英語を補充したり、文脈に合う表現を記述したりする設問については正答率が低い。できるだけ多くの英文にふれ、重要な事柄や情報を、文脈や展開の中で関連づけてまとめ、表現する言語活動を充実させる必要がある。

平成28年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【国語】(答案数:207)

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題一	問一	(1) 語句の知識	記述	138	66.7%	0	0.0%	68	32.9%	1	0.5%
		(2) 表現の理解	記号	175	84.5%	0	0.0%	31	15.0%	1	0.5%
		(3) 表現の理解	記述	118	57.0%	52	25.1%	35	16.9%	2	1.0%
	問二	書写の知識	記号	119	57.5%	0	0.0%	87	42.0%	1	0.5%
	問三	① 漢字の読み	記述	206	99.5%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
		② 漢字の読み	記述	141	68.1%	0	0.0%	49	23.7%	17	8.2%
		③ 漢字の書き	記述	147	71.0%	0	0.0%	47	22.7%	13	6.3%
		④ 漢字の書き	記述	117	56.5%	0	0.0%	76	36.7%	14	6.8%
	問四	語句の知識	記号	170	82.1%	0	0.0%	37	17.9%	0	0.0%
	問五	(1) 文法の知識	記号	115	55.6%	0	0.0%	91	44.0%	1	0.5%
(2) 敬語の理解		記述	147	71.0%	0	0.0%	54	26.1%	6	2.9%	
問題二	問一	(1) 内容の理解	記号	85	41.1%	0	0.0%	118	57.0%	4	1.9%
		(2)A 内容の理解	記述	86	41.5%	15	7.2%	58	28.0%	48	23.2%
		(2)B 内容の理解	記述	128	61.8%	4	1.9%	34	16.4%	41	19.8%
	問二	内容の理解	記述	62	30.0%	5	2.4%	98	47.3%	42	20.3%
	問三	文法の知識	記号	156	75.4%	0	0.0%	48	23.2%	3	1.4%
	問四	内容の理解	記述	16	7.7%	29	14.0%	92	44.4%	70	33.8%
	問五	文章の構成	記号	92	44.4%	0	0.0%	108	52.2%	7	3.4%
問題三	問一	内容の理解・語句の知識	記述	137	66.2%	0	0.0%	60	29.0%	10	4.8%
	問二	内容の理解	記号	153	73.9%	1	0.5%	50	24.2%	3	1.4%
	問三	内容の理解	記述	23	11.1%	31	15.0%	116	56.0%	37	17.9%
	問四	文脈の理解	記号	163	78.7%	0	0.0%	41	19.8%	3	1.4%
	問五	内容の理解	記号	163	78.7%	0	0.0%	37	17.9%	7	3.4%
	問六	内容の理解	記号	111	53.6%	0	0.0%	88	42.5%	8	3.9%
	問七	内容の理解	記述	37	17.9%	0	0.0%	34	16.4%	136	65.7%
	問八	表現の理解	記号	138	66.7%	0	0.0%	60	29.0%	9	4.3%
問題四	問一	歴史的仮名遣い	記述	179	86.5%	0	0.0%	25	12.1%	3	1.4%
	問二	内容の理解	記述	76	36.7%	40	19.3%	49	23.7%	42	20.3%
	問三	文法の理解	記号	119	57.5%	0	0.0%	81	39.1%	7	3.4%
	問四	(1) 内容の理解	記号	32	15.5%	0	0.0%	165	79.7%	10	4.8%
		(2) 内容の理解	記号	132	63.8%	0	0.0%	64	30.9%	11	5.3%
(3) 内容の理解		記号	123	59.4%	0	0.0%	73	35.3%	11	5.3%	
問題五	目的に応じた表現	記述	45	21.7%	122	58.9%	32	15.5%	8	3.9%	

平成28年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【社会】(答案数:207)

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	1 緯度と経度	記号選択	153	73.9%	0	0.0%	54	26.1%	0	0.0%
		2 国土と排他的経済水域	記述	188	90.8%	0	0.0%	18	8.7%	1	0.5%
		3 時差	記述	97	46.9%	0	0.0%	101	48.8%	9	4.3%
		4 熱帯と冷帯の住居	記号選択	144	69.6%	0	0.0%	63	30.4%	0	0.0%
		5 世界の食文化	記号選択	157	75.8%	0	0.0%	50	24.2%	0	0.0%
	問2	1 日本の気候	記号選択	121	58.5%	0	0.0%	86	41.5%	0	0.0%
		2 京都と札幌の都市形態	記号選択	111	53.6%	0	0.0%	96	46.4%	0	0.0%
		3 各地域の産業の特色	記号選択	80	38.6%	0	0.0%	127	61.4%	0	0.0%
		4 発電量の変化	記号選択	112	54.1%	0	0.0%	95	45.9%	0	0.0%
		5A 台地上の農地	語句記述	97	46.9%	0	0.0%	103	49.8%	7	3.4%
		5B		96	46.4%	0	0.0%	109	52.7%	2	1.0%
	6 地形図(有珠山)	記号選択	122	58.9%	0	0.0%	85	41.1%	0	0.0%	
	地理的分野			1478	59.5%	0	0.0%	987	39.7%	19	0.8%
問題2	問1	1 弥生時代の特色	記号選択	157	75.8%	0	0.0%	50	24.2%	0	0.0%
		2 浄土信仰	語句記述	77	37.2%	1	0.5%	122	58.9%	7	3.4%
		3A 勘合貿易	語句記述	102	49.3%	0	0.0%	88	42.5%	17	8.2%
				3B	175	84.5%	0	0.0%	27	13.0%	5
		4 石見銀山	記号選択	117	56.5%	0	0.0%	90	43.5%	0	0.0%
		5 参勤交代	記号選択	103	49.8%	0	0.0%	104	50.2%	0	0.0%
	6 江戸時代の米の流通	説明	49	23.7%	39	18.8%	96	46.4%	23	11.1%	
	問2	1 化政文化	記号選択	97	46.9%	0	0.0%	110	53.1%	0	0.0%
		2 明治時代の輸出品	記号選択	134	64.7%	0	0.0%	73	35.3%	0	0.0%
		3 世界大戦	説明	103	49.8%	8	3.9%	78	37.7%	18	8.7%
		4 国際条約	並べ替え	61	29.5%	0	0.0%	146	70.5%	0	0.0%
	歴史的分野			1175	51.6%	48	2.1%	984	43.2%	70	3.1%
問題3	問1	1 国民の政治参加	記号選択	131	63.3%	0	0.0%	76	36.7%	0	0.0%
		2 比例代表制選挙	記述	60	29.0%	0	0.0%	140	67.6%	7	3.4%
		3 衆議院の優越	記号選択	74	35.7%	0	0.0%	132	63.8%	1	0.5%
		4 条例	語句記述	147	71.0%	0	0.0%	36	17.4%	24	11.6%
	問2	1 基本的人権	記号選択	162	78.3%	0	0.0%	44	21.3%	1	0.5%
		2 三大義務	語句記述	139	67.1%	0	0.0%	60	29.0%	8	3.9%
		3A 憲法改正手続き	語句記述	100	48.3%	0	0.0%	100	48.3%	7	3.4%
				3B	148	71.5%	0	0.0%	51	24.6%	8
	問3	1 公債	記号選択	161	77.8%	0	0.0%	46	22.2%	0	0.0%
		2 消費者主権	語句記述	150	72.5%	0	0.0%	57	27.5%	0	0.0%
		3 金融政策	記号選択	130	62.8%	0	0.0%	77	37.2%	0	0.0%
	問4	1 人口推計	記号選択	135	65.2%	0	0.0%	71	34.3%	1	0.5%
		2 地域統合	語句記述	41	19.8%	0	0.0%	158	76.3%	8	3.9%
		3 GDPと国防支出	記号選択	98	47.3%	0	0.0%	105	50.7%	4	1.9%
	市民的分野			1676	57.8%	0	0.0%	1153	39.8%	69	2.4%
合計			4329	56.5%	48	0.6%	3124	40.8%	158	2.1%	

平成28年度 鳥取県高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【数学】(答案数:207)

問題番号		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題1	問1	(1) 正の数・負の数の計算	計算	201	97.1%	0	0.0%	6	2.9%	0	0.0%
		(2) 分数の計算 (異符号の商)	計算	191	92.3%	0	0.0%	16	7.7%	0	0.0%
		(3) 平方根を含む式の計算	計算	182	87.9%	0	0.0%	22	10.6%	3	1.4%
		(4) 多項式の計算 (差)	計算	189	91.3%	0	0.0%	17	8.2%	1	0.5%
		(5) 単項式の計算 (乗・除)	計算	142	68.6%	0	0.0%	64	30.9%	1	0.5%
	問2	平方根を含む数の大小関係	計算	163	78.7%	0	0.0%	35	16.9%	9	4.3%
	問3	因数分解	計算	191	92.3%	0	0.0%	13	6.3%	3	1.4%
	問4	一次関数の増加量	計算	88	42.5%	0	0.0%	113	54.6%	6	2.9%
	問5	二次方程式の解の公式	計算	165	79.7%	4	1.9%	29	14.0%	9	4.3%
	問6	平行線や角の性質	計算	136	65.7%	0	0.0%	67	32.4%	4	1.9%
	問7	回転体の体積	計算	129	62.3%	0	0.0%	67	32.4%	11	5.3%
	問8	作図 (垂直二等分線)	作図	100	48.3%	2	1.0%	81	39.1%	24	11.6%
	問9	反比例のグラフ	記号選択	128	61.8%	0	0.0%	77	37.2%	2	1.0%
問10	文字を用いることの必要性	計算	89	43.0%	12	5.8%	83	40.1%	23	11.1%	
問題2	問1	抽出方法	記号選択	197	95.2%	0	0.0%	9	4.3%	1	0.5%
	問2	(1) 相対度数	計算	133	64.3%	0	0.0%	57	27.5%	17	8.2%
		(2) 平均値中央値【記述】	記述	75	36.2%	21	10.1%	82	39.6%	29	14.0%
問題3	問1	(1) 場合の数	計算	144	69.6%	0	0.0%	62	30.0%	1	0.5%
		(2) 確率の計算	計算	152	73.4%	0	0.0%	52	25.1%	3	1.4%
		(3) 確率の計算 (余事象)	計算	89	43.0%	2	1.0%	107	51.7%	9	4.3%
問2	確率・平方根【融合】	計算	25	12.1%	0	0.0%	106	51.2%	76	36.7%	
問題4	問1	グラフの読み取り	読み取り	177	85.5%	0	0.0%	24	11.6%	6	2.9%
	問2	連立方程式立式	立式	79	38.2%	44	21.3%	54	26.1%	30	14.5%
	問3	連立方程式の解	計算	80	38.6%	0	0.0%	59	28.5%	68	32.9%
	問4	一次関数のグラフ	グラフ記述	65	31.4%	0	0.0%	57	27.5%	85	41.1%
	問5	2直線の関係	計算	12	5.8%	0	0.0%	94	45.4%	101	48.8%
問題5	問1	比例定数の決定	計算	146	70.5%	0	0.0%	43	20.8%	18	8.7%
	問2	直線の方程式	計算	114	55.1%	0	0.0%	40	19.3%	53	25.6%
	問3	三角形の合同の証明	証明記述	45	21.7%	48	23.2%	30	14.5%	89	43.0%
	問4	等積変形【融合】	記述	1	0.5%	4	1.9%	24	11.6%	180	87.0%
問題6	問1	三平方の定理	計算	133	64.3%	0	0.0%	58	28.0%	16	7.7%
	問2	正八面体の体積【融合】	計算	67	32.4%	0	0.0%	96	46.4%	44	21.3%
	問3	正八面体の展開図	記号選択	50	24.2%	0	0.0%	119	57.5%	38	18.4%
	問4	正八面体の切断面	記号選択	93	44.9%	0	0.0%	89	43.0%	25	12.1%
	問5	正八面体に内接する球の体積【融合】	計算	1	0.5%	0	0.0%	120	58.0%	86	41.5%

平成28年度 鳥取県高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【理科】(答案数:207)

問題番号		内容	出題形式		正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題1	問1	根のつくり	記述	語句	189	91.3%	0	0.0%	18	8.7%	0	0.0%
	問2	(1) 道管・師管の役割	記述	語句	158	76.3%	0	0.0%	49	23.7%	0	0.0%
	問2	(2) 植物のなかま分け	選択	記号選択	145	70.0%	0	0.0%	62	30.0%	0	0.0%
	問3	葉のつき方の法則	選択	記号選択	148	71.5%	0	0.0%	59	28.5%	0	0.0%
	問4	葉のつき方の利点	記述	説明	176	85.0%	0	0.0%	28	13.5%	3	1.4%
問題2	問1	(1) 酸化銅の化学式	記述	化学式等	140	67.6%	0	0.0%	55	26.6%	12	5.8%
	問1	(2) 物質の分類	選択	記号選択	64	30.9%	0	0.0%	143	69.1%	0	0.0%
	問2	グラフの作図	記述	作図	168	81.2%	0	0.0%	33	15.9%	6	2.9%
	問3	(1) マグネシウムの酸化の化学反応式	記述	化学式等	109	52.7%	9	4.3%	71	34.3%	18	8.7%
	問3	(2) 質量比の計算	記述	計算	67	32.4%	0	0.0%	138	66.7%	2	1.0%
問題3	問1	(1) 地震のゆれの特徴	記述	語句	186	89.9%	0	0.0%	21	10.1%	0	0.0%
	問1	(2) 地震のゆれの特徴	選択	記号選択	138	66.7%	0	0.0%	69	33.3%	0	0.0%
	問1	(3) 震央の位置	選択	記号選択	171	82.6%	0	0.0%	35	16.9%	1	0.5%
	問2	階段段丘のでき方	選択	記号選択	68	32.9%	0	0.0%	138	66.7%	1	0.5%
問題4	問1	(1) 電流の計算	記述	計算	178	86.0%	0	0.0%	23	11.1%	6	2.9%
	問1	(2) 発熱量の計算	記述	計算	97	46.9%	0	0.0%	103	49.8%	7	3.4%
	問2	データをもとに水温を求める	記述	計算	75	36.2%	0	0.0%	121	58.5%	11	5.3%
	問3	実験結果の考察	選択	記号選択	116	56.0%	0	0.0%	91	44.0%	0	0.0%
	問4	実験方法を考える	選択	記号選択	106	51.2%	0	0.0%	100	48.3%	1	0.5%
問題5	問1	目のつくり	選択	記号選択	132	63.8%	0	0.0%	75	36.2%	0	0.0%
	問2	刺激や命令の伝わり方	選択	並べ替え	69	33.3%	0	0.0%	138	66.7%	0	0.0%
	問3	グラフを読み取る	記述	その他	153	73.9%	0	0.0%	48	23.2%	6	2.9%
	問4	(1) 反射	記述	語句	194	93.7%	0	0.0%	11	5.3%	2	1.0%
	問4	(2) 刺激や命令の伝わり方	選択	記号選択	145	70.0%	0	0.0%	62	30.0%	0	0.0%
問題6	問1	中和	記述	語句	186	89.9%	0	0.0%	16	7.7%	5	2.4%
	問2	酸とアルカリからできる塩	記述	語句	138	66.7%	0	0.0%	60	29.0%	9	4.3%
	問3	(1) 硫酸と水酸化バリウム水溶液の反応	記述	説明	79	38.2%	0	0.0%	111	53.6%	17	8.2%
	問3	(2) 水溶液の液性とイオン数の関係	記述	化学式等	84	40.6%	0	0.0%	102	49.3%	21	10.1%
問題7	問1	重力と抗力	記述	計算	201	97.1%	0	0.0%	4	1.9%	2	1.0%
	問2	(1) 2力の合力の作図	記述	作図	172	83.1%	0	0.0%	30	14.5%	5	2.4%
	問2	(2) 力のつり合い	選択	記号選択	49	23.7%	0	0.0%	158	76.3%	0	0.0%
	問3	慣性の法則	記述	語句	178	86.0%	0	0.0%	27	13.0%	2	1.0%
	問4	慣性の法則に関する現象	選択	記号選択	101	48.8%	0	0.0%	105	50.7%	1	0.5%
問題8	問1	太陽の日周運動	記述	語句	184	88.9%	0	0.0%	21	10.1%	2	1.0%
	問2	日の入りの時刻の計算	記述	計算	116	56.0%	0	0.0%	73	35.3%	18	8.7%
	問3	太陽の動き	選択	記号選択	3	1.4%	0	0.0%	204	98.6%	0	0.0%
	問4	南半球での太陽の日周運動	選択	記号選択	105	50.7%	0	0.0%	101	48.8%	1	0.5%
	問5	緯度と南中高度の関係	記述	説明	91	44.0%	14	6.8%	94	45.4%	8	3.9%

平成28年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【英語】(答案数:207)

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率		
問題1	問1	No.1	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	182	87.9%	0	0.0%	25	12.1%	0	0.0%
		No.2	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	192	92.8%	0	0.0%	15	7.2%	0	0.0%
		No.3	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	83	40.1%	0	0.0%	124	59.9%	0	0.0%
	問2	No.1	対話の聞き取り	記号選択	85	41.1%	0	0.0%	122	58.9%	0	0.0%
		No.2	対話の聞き取り	記号選択	195	94.2%	0	0.0%	12	5.8%	0	0.0%
	問3	(1)	まとまりのある説明の聞き取り	語句補充	118	57.0%	0	0.0%	86	41.5%	3	1.4%
		(2)	まとまりのある説明の聞き取り	語句補充	183	88.4%	0	0.0%	18	8.7%	6	2.9%
		(3)	まとまりのある説明の聞き取り	語句補充	57	27.5%	0	0.0%	146	70.5%	4	1.9%
	問4	Ques.1	まとまりのある対話の聞き取り	記号選択	181	87.4%	0	0.0%	26	12.6%	0	0.0%
		Ques.2	まとまりのある対話の聞き取り	記号選択	159	76.8%	0	0.0%	48	23.2%	0	0.0%
Ques.3		まとまりのある対話の聞き取り	記号選択	196	94.7%	0	0.0%	11	5.3%	0	0.0%	
問題2	問1	No.1	対話文中の単語補充	単語補充	114	55.1%	0	0.0%	86	41.5%	7	3.4%
		No.2	対話文中の単語補充	単語補充	118	57.0%	0	0.0%	82	39.6%	7	3.4%
		No.3	対話文中の単語補充	単語補充	111	53.6%	0	0.0%	78	37.7%	18	8.7%
	問2		対話文中の語句整序作文	語句整序	101	48.8%	3	1.4%	100	48.3%	3	1.4%
問題3	問1	・内容把握(空所補充)	単語補充	174	84.1%	0	0.0%	23	11.1%	10	4.8%	
		・内容把握(空所補充)	単語補充	101	48.8%	0	0.0%	96	46.4%	10	4.8%	
	問2	・内容把握(和文記述)	日本文記述	136	65.7%	23	11.1%	32	15.5%	16	7.7%	
	問3	・内容把握(和文選択)	記号選択	172	83.1%	0	0.0%	34	16.4%	1	0.5%	
	問4	・自由英作文(英語の質問に対して回答)	自由英作文	32	15.5%	75	36.2%	62	30.0%	38	18.4%	
問題4	問1	・内容把握(英文選択)	記号選択	177	85.5%	0	0.0%	30	14.5%	0	0.0%	
	問2	・内容把握(会話の展開にあうポスターを選択)	記号選択	159	76.8%	0	0.0%	48	23.2%	0	0.0%	
	問3	・内容把握(和文記述)	日本文記述	64	30.9%	41	19.8%	63	30.4%	39	18.8%	
	問4	・内容把握(英文選択)	記号選択	127	61.4%	0	0.0%	77	37.2%	3	1.4%	
	問5	・内容把握(空所補充)	単語補充	75	36.2%	0	0.0%	119	57.5%	13	6.3%	
		・内容把握(空所補充)	単語補充	31	15.0%	0	0.0%	148	71.5%	28	13.5%	
問題5	問1	・内容把握(和文選択)	記号選択	116	56.0%	0	0.0%	90	43.5%	1	0.5%	
	問2	・内容把握(和文記述)	日本文記述	106	51.2%	28	13.5%	57	27.5%	16	7.7%	
	問3	・内容把握(空所補充)	単語補充	45	21.7%	0	0.0%	124	59.9%	38	18.4%	
	問4	・内容把握(文脈理解適文補充)	英文記述	25	12.1%	28	13.5%	108	52.2%	46	22.2%	
	問5	・内容把握(英文選択)	記号選択	139	67.1%	0	0.0%	67	32.4%	1	0.5%	
	問6	・内容把握(英文選択)	記号選択	174	84.1%	0	0.0%	32	15.5%	1	0.5%	
	問7	・内容把握(英文選択)	記号選択	162	78.3%	0	0.0%	37	17.9%	8	3.9%	
・内容把握(英文選択)		記号選択	107	51.7%	0	0.0%	94	45.4%	6	2.9%		